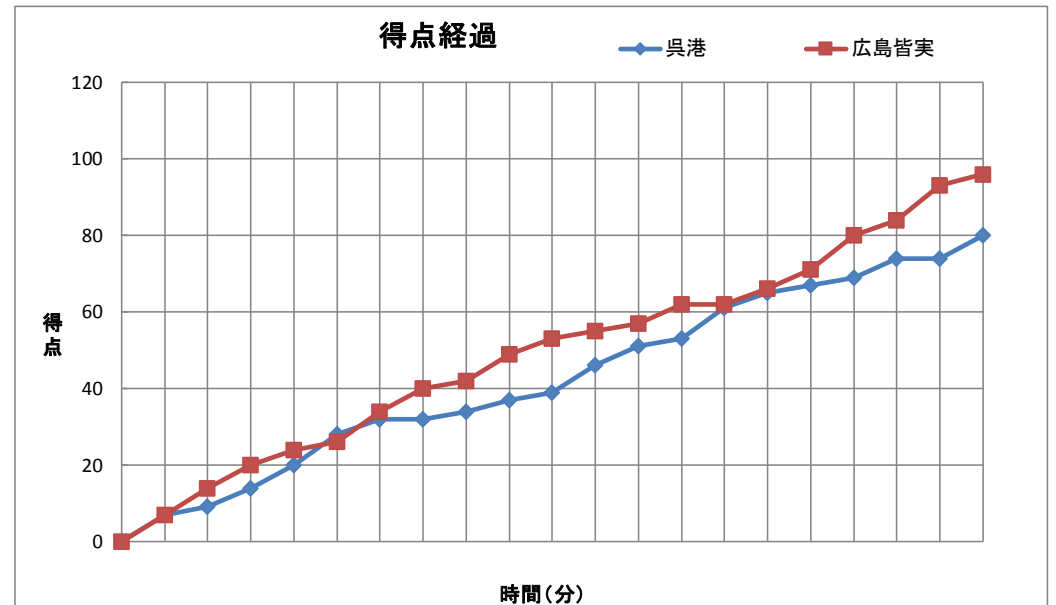




令和3年度広島県高等学校秋季バスケットボール大会
第74回全国高等学校バスケットボール選手権大会 広島県予選

個人トータル表

男子		令和3年10月24日 11:00 開始														
決勝		広島サンプラザ P														
呉港 (広島県)	80	<table border="1"> <tr><td>28</td><td>1st</td><td>26</td></tr> <tr><td>11</td><td>2nd</td><td>27</td></tr> <tr><td>26</td><td>3rd</td><td>13</td></tr> <tr><td>15</td><td>4th</td><td>30</td></tr> </table>	28	1st	26	11	2nd	27	26	3rd	13	15	4th	30	96	◎ 広島皆実 (広島県)
28	1st	26														
11	2nd	27														
26	3rd	13														
15	4th	30														
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則			
8	宇江 照	-	-	-	-	-	4	梶谷 吾織	-	-	-	-	-			
11	安浦岡 悠葵	-	-	-	-	-	5	梶原 琉夏	2	0	1	0	1			
13	佐々木 悠翔	-	-	-	-	-	* 6	定森 琉汰	7	1	2	0	1			
* 14	佐古 竜誠	25	2	7	5	2	* 7	柿村 香佑	32	4	9	2	2			
* 15	溝手 晴起	2	0	1	0	0	* 8	出野 龍太郎	8	0	4	0	2			
* 16	大瀬 優尚	5	0	2	1	3	9	入江 飛羽	0	0	0	0	0			
23	坂本 優大	-	-	-	-	-	10	篠原 広照	-	-	-	-	-			
* 27	井上 晃成	18	4	2	2	0	* 11	梶谷 崇太	15	1	4	4	4			
28	塚迫 光成	8	0	4	0	0	12	中水 元基	20	3	5	1	2			
31	森岡 竜登	0	0	0	0	1	13	土肥 映斗	-	-	-	-	-			
34	守下 高明	2	0	1	0	0	14	中谷 颯良	-	-	-	-	-			
35	ディオップモヘメドランソール	6	0	3	0	2	* 15	大福谷 翼	12	0	6	0	2			
48	柴村 晃太	-	-	-	-	-	16	広瀬 琉星	-	-	-	-	-			
* 77	ディオップセリヌササリュ	14	0	7	0	2	17	小田 悠人	-	-	-	-	-			
88	酒井 翔麻	-	-	-	-	-	18	伊達 奏汰	-	-	-	-	-			
コーチ	加藤 博					0	コーチ	藤井 貴康					0			
Aコーチ	加藤 洋子						Aコーチ	東 昌隆								
合計		80	6	27	8	10	合計		96	9	31	7	14			
主審: 山住 泰光																
副審: 森原 隆																
副審: 熊本 裕一朗																



CTO	1・2P		3・4P		OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	5:23	17:31	34:31	:	:	:	:	:
TeamB	15:18	:	23:40	39:04	:	:	:	:

〔戦評〕
 スタート 呉港#14.15.16.27.77 広島皆実#6.7.8.11.15
 1P ディフェンスは両チームともマンツーマンから始まり、互いに速い展開から得点を重ねていく。広島皆実#7番が速攻やスリーポイントシュートで得点を重ね、9点開いたところで呉港がタイムアウトを要求する。タイムアウト明け、呉港#14.27のドライブやスリーポイントを中心に点差を縮めて残り1分を切ったところで逆転し、呉港28対広島皆実26で1Pリドを終える。
 2P ディフェンスは両チーム変わらずマンツーマンを継続する。呉港はシュートまで持って行くが決定力に欠き、5分経過した時点で6得点と我慢の時間となる。一方広島皆実を持ち味の1Pリド同様速い展開から#7.11.12を中心に得点を重ね一気に得点を伸ばし、呉港39対広島皆実53で前半を終える。
 3P 後半呉港はディフェンスを3-2ゾーンに切り替え、追い上げ始める。広島皆実が呉港のゾーンディフェンスに対し、インサイド、アウトサイドで揺さぶりをかけるが決定力に欠け得点が止まってしまう。呉港は2Pリドになかなか決まらなかったシュートが決まり、残り3分弱で3点差まで追いつける。終了間際呉港#77がシュートを決め、呉港65対広島皆実66で3Pリドを終える。
 4P 呉港はゾーンディフェンス、広島皆実がマンツーマンを継続する。広島皆実が#7.12のスリーポイントや#15のハイポストからのシュートで連続得点し、9点差まで広げる。呉港は#14.27を中心に果敢にゴールにアタックするもシュートが入らない。広島皆実がリバウンドから得意の速い展開で得点を重ね、残り5分半でタイムアウトを要求する。なんとか逆転したい呉港は#14のスリーをきっかけに得点を重ねたいが、広島皆実のディフェンスに阻まれなかなか得点が伸びない。広島皆実の猛攻は止まらず呉港80対広島皆実96で試合終了。
 呉港は最後まで攻め続けたが、中外で攻撃バリエーションが豊富な広島皆実が得点を重ね続けて勝利した。